



**2025年度**

**(2026年3月期)**

**第1四半期**

**決算報告**

**NSユニテッド海運株式会社**

2025年7月31日

# 目次

1. 第1四半期決算の概要	…………… p.2-3
2. 2025年度業績見通し	…………… p.4-5
3. 活動状況	…………… p.6-7
(ご参考) 財務アウトルック	…………… p.8

# 1. 第1四半期決算の概要

【連結】 (単位：億円)	2024年度							2025年度	前年度
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	同期比
売上高	623	664	1,287	607	580	1,187	2,474	548	▲ 75
営業利益	58	59	117	52	34	85	202	37	▲ 21
外航部門	54	47	101	40	21	61	163	29	▲ 25
内航部門	5	11	16	11	13	24	40	9	+ 4
経常利益	70	31	101	68	21	89	190	29	▲ 41
親会社株主に帰属する 四半期純利益	57	35	92	54	40	95	186	60	+ 3
為替 (円/US\$)	¥153.33	¥153.67	¥153.50	¥149.33	¥155.00	¥152.17	¥152.83	¥145.67	▲¥7.66
燃料油価格※ (US\$/MT)	\$556	\$617	\$587	\$550	\$532	\$541	\$564	\$553	▲\$3
市況									
ケーブルサイズ	\$22,665	\$24,909	\$23,813	\$18,301	\$12,998	\$15,607	\$19,759	\$18,681	▲ \$3,984
パナマックス	\$16,380	\$13,940	\$15,131	\$10,557	\$9,591	\$10,066	\$12,629	\$11,849	▲ \$4,531
ハンディ	\$13,051	\$13,321	\$13,189	\$12,244	\$9,058	\$10,625	\$11,922	\$10,592	▲ \$2,459

※燃料油価格は脱硫装置を搭載した船舶で消費する高硫黄C重油を含む全油種平均価格

# 1. 第1四半期決算の概要

## 外航海運

● 大型船市況は南米積み鉄鉱石や西アフリカ積みボーキサイトの好調な出荷が市況を押し上げ6月中旬に日建て用船料が3万ドルまで上昇するも、米国の関税・通商政策が世界経済に与える影響やそれに伴う海上輸送需要の減速が懸念され、期中平均は前年同期を下回る。

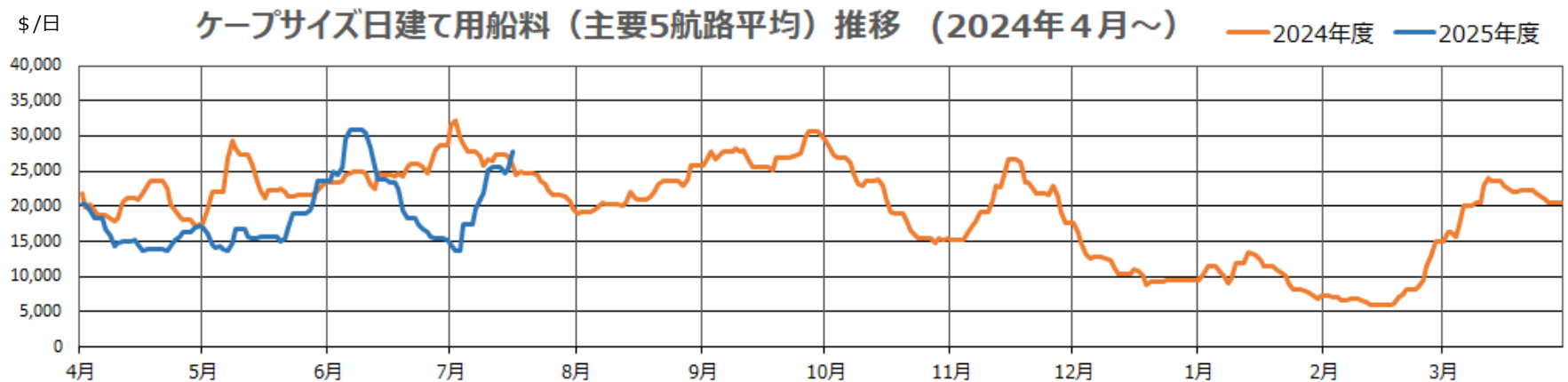
● 中小型船市況も石炭の荷動きが低調、またパナマ運河通航制限が緩和され実質船腹供給が増加したことにより前年同期を下回る。

● ドル円相場は日米金利差縮小の動きから円高ドル安傾向。前年同期比では市況の停滞、円高に加え、大型船の長期滞船が減収要因となったが、船隊整備の一環として売却した老齢船の売船益を特別利益に計上し、四半期純利益ベースでは増益を確保。

## 内航海運

● 自動車生産が回復基調となるも粗鋼生産は伸び悩み、鉄鋼関連貨物の輸送量は前年同期比で概ね横ばい。

● セメント貨物の輸送量は減少したが、燃料費低下に伴い運航採算が改善し、前年同期比で増収増益。



# 2.2025年度業績見通し

【連結】 (単位：億円)	2025年度 (今回予想)					前年度比		前回4月予想比	
	1Q (実績)	2Q (予想)	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)	前年度通期 (実績)	増減額	通期 (予想)	増減額
<b>売上高</b>	<b>548</b>	<b>522</b>	<b>1,070</b>	<b>1,000</b>	<b>2,070</b>	<b>2,474</b>	<b>▲ 404</b>	<b>2,010</b>	<b>+ 60</b>
<b>営業利益</b>	<b>37</b>	<b>43</b>	<b>80</b>	<b>71</b>	<b>151</b>	<b>202</b>	<b>▲ 51</b>	<b>130</b>	<b>+ 21</b>
外航部門	29	30	59	48	107	163	▲ 56	95	+ 12
内航部門	9	12	21	23	44	40	+ 5	35	+ 9
<b>経常利益</b>	<b>29</b>	<b>40</b>	<b>69</b>	<b>61</b>	<b>130</b>	<b>190</b>	<b>▲ 60</b>	<b>100</b>	<b>+ 30</b>
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>60</b>	<b>36</b>	<b>96</b>	<b>68</b>	<b>164</b>	<b>186</b>	<b>▲ 22</b>	<b>140</b>	<b>+ 24</b>
為替 (円/US\$)	¥145.67	¥145.00	¥145.33	¥140.00	¥142.67	¥152.83	▲ ¥10.17	¥140.00	+ ¥2.67
燃料油価格 (US\$/MT)	\$553	\$478	\$515	\$478	\$497	\$564	▲ \$67	\$483	+ \$14
市況									
ケーブルサイズ	\$18,681	\$21,500	\$20,091	\$18,500	\$19,295	\$19,759	▲ \$464	\$17,500	+ \$1,795
パナマックス	\$11,849	\$14,000	\$12,925	\$11,500	\$12,212	\$12,629	▲ \$417	\$10,500	+ \$1,712
ハンディ	\$10,592	\$11,500	\$11,046	\$10,000	\$10,523	\$11,922	▲ \$1,399	\$10,000	+ \$523

※ 為替は1円の円安で約3億円の経常増益 (2Q-4Q)

燃料油価格は脱硫装置を搭載した船舶で消費する高硫黄C重油を含む全油種平均価格

# 2.2025年度業績見通し

## 上期業績の見通し：当初想定より円安水準で推移しており上方修正を見込む

- 大型船市況は7月以降、再び上昇しており、引き続き南米積み鉄鉱石、西アフリカ積みボーキサイトが牽引し底堅く推移すると期待される。中小型船市況も上昇に転じている。
- 為替は前回4月公表時の前提となる140円を上回り推移。円安が追い風となる見込みで第2四半期（7－9月）の為替前提を145円とする。
- 専航船隊は長期滞船、悪天候の影響により収益が伸び悩むも、海運市況が持ち直すことでフリー船隊が収益増に貢献し前回見込みに対し営業利益で20億円の上方修正、経常利益で19億円の上方修正を予想。

## 通期業績の見通し：市況に対する過度に悲観的な見方は後退し、下期にかけて回復が期待される。

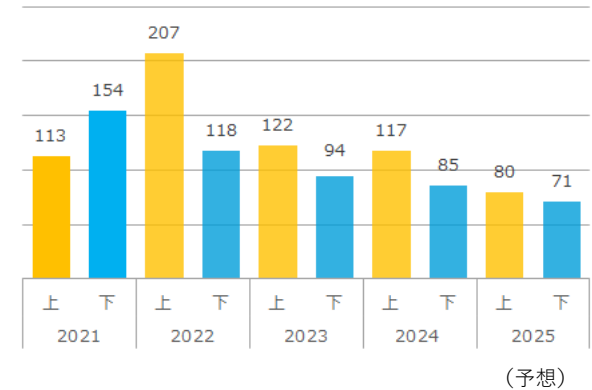
- 米国関税政策に関しては引き続き注視を要するものの、複数国が米国と合意する動きなども見られ、期首時点と比較すると市況は落ち着きを取り戻しつつある。年明けは例年通り季節的な要因で一時的に弱含む局面が予想されるが、下期の市況は前年度並みか若干上回る水準を想定。
- 下期為替前提は140円と前回予測と変わらず、足元より円高水準を前提とする。2025年度連結営業利益は、下期71億円、通期151億円を予想。また、連結当期純利益は通期164億円を予想しており、前回4月予想から各段階利益で上方修正を見込む。

## 配当予想：年間配当性向は連結業績ベースの30%を基準とします。

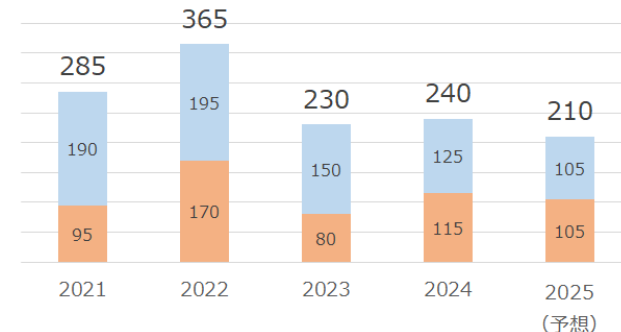
中間配当：一株当たり90円としていた配当予想を一株当たり105円に増配修正します。

期末配当：前回未定としていましたが一株当たり105円、中間配当と合わせた年間配当は一株当たり210円を予想します。

半期毎営業利益（単位：億円）



一株当たり配当（円） ■ 中間 ■ 期末



# 3.活動状況

## 下北丸が「シップ・オブ・ザ・イヤー2024 小型貨物船部門賞」を受賞

当社グループ会社であるNSユニテッド内航海運が所有する石灰石専用船「下北丸」が公益社団法人 日本船舶海洋工学会主催の「シップ・オブ・ザ・イヤー2024」で小型貨物船部門賞を受賞しました。この賞は、日本で建造された優れた船舶に与えられるものです。

「下北丸」は、天然ガス専焼エンジンと大容量バッテリーを搭載したハイブリッド推進システムを採用し、ばら積み船としては世界初の試みとなります。港湾内でのゼロエミッションと、運航時のCO2排出量を従来型の船舶比で約30%削減しました。船内の騒音が低減され、乗組員が働きやすい環境である点も評価されました。



表彰式の様子

## ESG投資の世界的指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に継続選定

当社はこのたび「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Relative Index」の構成銘柄に三年連続で選定されました。本インデックスは、グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、コーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野で評価されており、ESG（環境、社会、ガバナンス）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。

構成銘柄である企業は環境、社会、ガバナンスに関する様々な基準を満たしているとされ、公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG投資の運用に採用しているベンチマークの一つです。



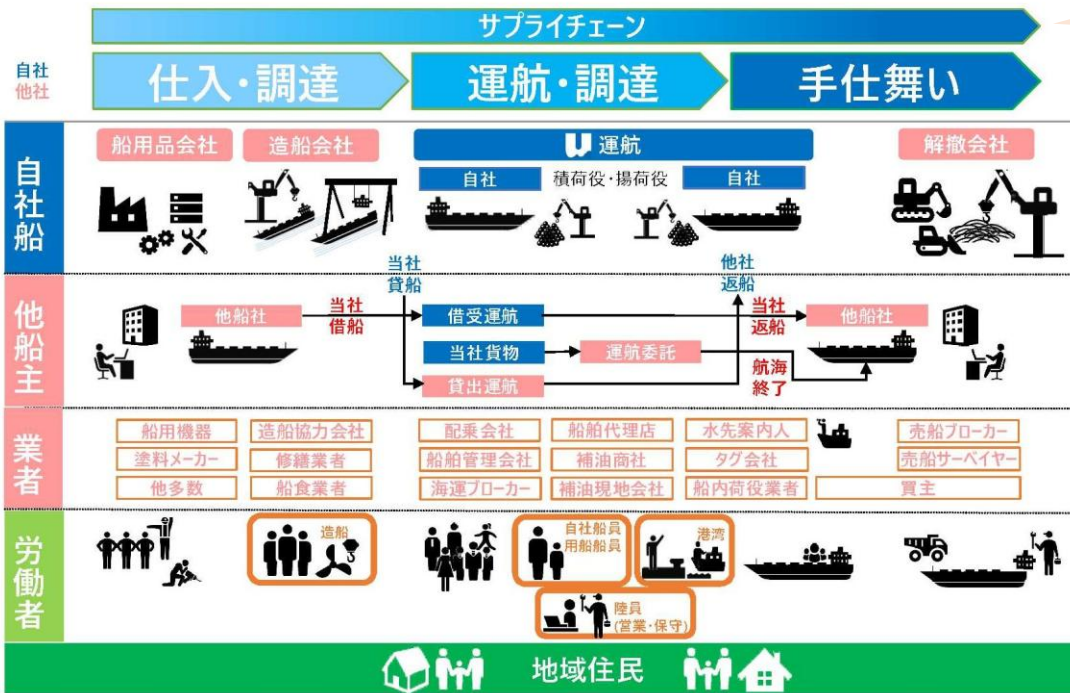
石灰石運搬船「下北丸」

# 3.活動状況

## 人権への取り組みが事例集に掲載

当社の人権への取り組みが「『ビジネスと人権』ファーストステップ」に掲載されました。

本事例集は、法務省の委託により、公益財団法人人権教育啓発推進センターが製作したものです。人権への取り組みを始めようとする企業や、課題に直面している企業に向けて、具体的な実践例を紹介する内容となっており、当社の取り組みもその一例として紹介されています。当社は引き続きサプライチェーンにおける人権尊重の取り組みを推進してまいります。



ステークホルダーの可視化が、大きな効果を生む事例として掲載されました。

<https://www.jinken-library.jp/database/docs/R6-business-jireishu.pdf>

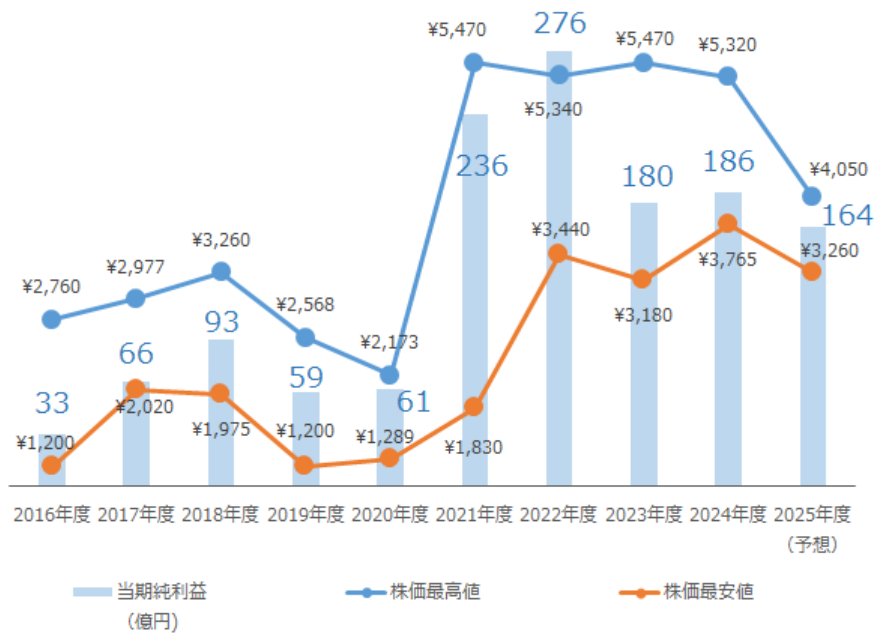


NSユナイテッド海運株@ Copyright2023

現時点までの調査において、人権リスクの可能性が相対的に高いと考えられる労働者の範囲 (2023.12)

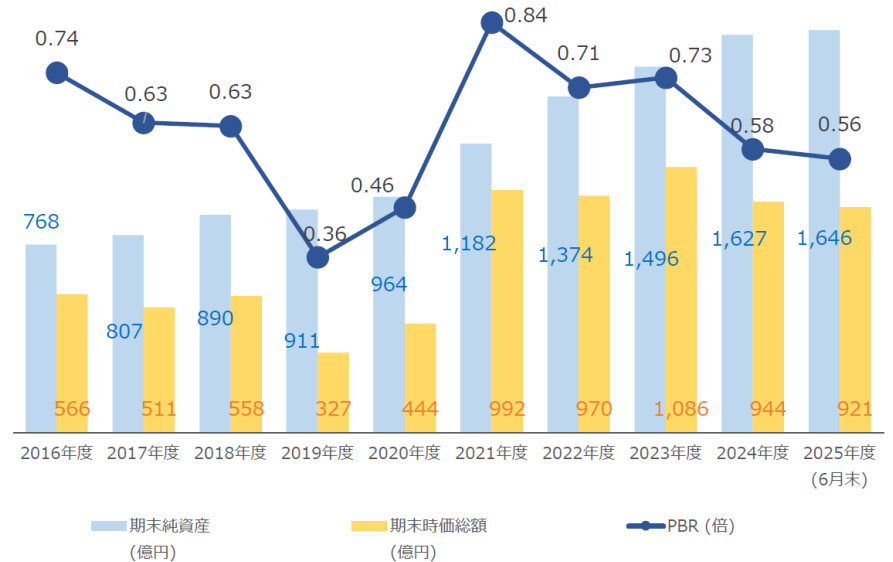
## (ご参考) 財務アウトック

### 当期純利益と期中株価の推移



2025年度  
 ※当期純利益は予測値  
 ※株価は4-6月実績

### 期末純資産・時価総額



# NSユニテッド海運株式会社

## Why

社会にとつての  
存在価値

パーパス：  
海上物流で、  
共に世界の今をつくる責任、  
未来へつなぐ責任を果たす

## What

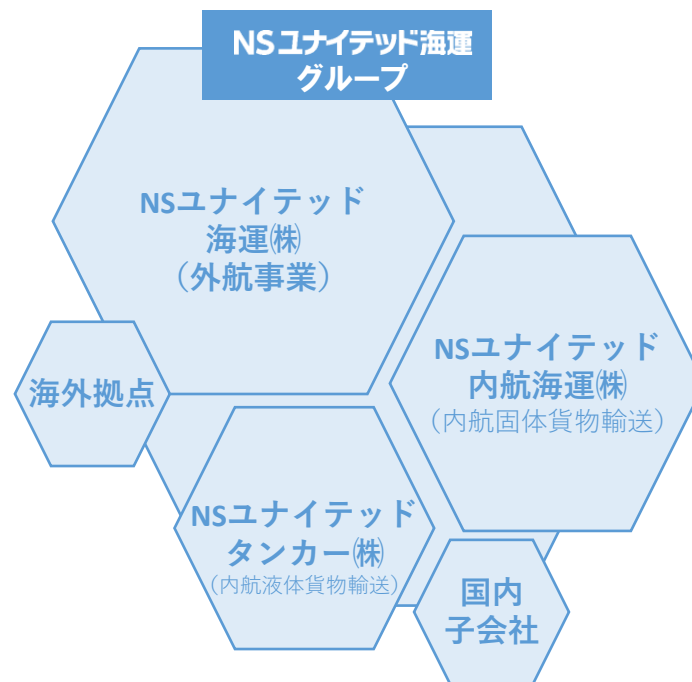
パーパス実現のために  
何をするのか

ミッション：基本理念  
NSユニテッド海運グループは、誠実で  
良質な海上輸送サービスの提供を通じ  
て社会の発展に貢献します

## Where

パーパス実現のプロセスにお  
いて2030年に  
目指す姿

ビジョン：  
クリーンでサステナブルな海上輸送におけ  
る必要不可欠な存在を目指し、ステーク  
ホルダーと協働して変革を続け、企業価  
値の更なる向上を図ります



(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

当社ウェブサイト：[NSユニテッド海運株式会社 \(nsuship.co.jp\)](https://www.nsuship.co.jp)

<https://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411

